

編集・発行

社会福祉法人

阪神共同福祉会園田苑

広報

〒661-0972

尼崎市小中島 1-1-18

TEL:06-6493-3731

私たちの目指すもの

一、地域に開かれた施設

二、入居者、家族、施設、地域のみんなで作る福祉を！

三、老人と共に生きがいを見い出す生活を！

社会福祉法人阪神共同福祉会園田苑

韓国聖愛療養院の皆さん
と大阪城にて。



福祉施設は地域を豊かにする！

理事長 中村大蔵

久しぶりに感動した。歌を聞きながら、昔のことが思い出され涙も出た。直接の当事者ではないけれど、とっても嬉しかった。

「あぜくら福祉会創立 30 周年記念式典、感謝のつどい」（10 月 29 日）に参列してのことである。会場がホテルニューアルカイクにもびっくりしたが、本格的な料理にも感心した。そして、作業所の「なかま」たちや家族がとてもたくさん参加され、全体が醸し出す一体感がまた素晴らしかった。

あぜくら福祉会が若王寺に作業所を開設しようとした時に、あろうことか地元住民から強烈な反対運動（1993 年）が巻き起こった。時あたかも心身障害者対策基本法が、障害者基本法に改正改題された年である。この時の反対運動は尼崎の歴史に残る大事件となった。

当時、その地の社協会館に「福祉推進モデル地区」との看板が掲げられていた。この反対運動を苦々しく思っていた私は、看板を見て俄然闘志が湧いた。

同じ福祉施設の「子供の家」に呼びかけて、連名で『あぜくら作業所を歓迎する』とのビラを作成し、周辺地域の全戸にポスティングした。いかほどの効果があったかわからないが、ある家族から涙ながらに感謝されたことを、今も鮮明に覚えている。

最近「かわいい」幼児の保育園建設にも反対運動がおこり、園児の声がうるさいと電話がかかってくる時代である。

「地域は福祉施設を解放し！福祉施設は地域を豊かにする！」。園田苑を作った時からの私の信念である。記念式典で、名実ともにこのような地域と施設を目指して共に歩もうとのエールを送った。



園田苑 28 周年

「地域づくり人づくり 未来に向かって支え愛」

園田苑が開設されてから 28 年を迎えました。私はこれまでの周年行事でなんとなく雰囲気は知っていたものの、当日だけの関わりが多く、一度担当をしてみたいと思っていました。

私の中で、周年は立食で大勢の来客の方で混雑するという印象が強く、賑やかな雰囲気も園田苑らしいけれど、立食はしんどいと感じて遠慮される方がおられるのも現実です。



入居者、利用者、ご家族、地域の方にゆっくりと食事や会話を楽しんでいただきたい。なんとか現状を変えたいと思い立ち、会議の場で「周年の担当をやります！」と手を挙げたことが事の始まりでした。担当者は厨房、特養、併設デイ、小規模、包括、居宅のメンバー計 6 名。今まで参加していた職員でも「えっ！こんなこと

までするの？」と驚きの連続。周年を経験したことのない職員からは驚きだけでなく戸惑う場面も。今までの記録と経験者からの意見を伺いながらなんとか形にし、テーブルの大きさや配置も考え、1 人でも多くの方に座って参加していただけるようにしました。結果としてはテーブルや椅子が不足し、食事がしにくくご不便をおかけする場面もありました。29 周年への課題が一つできました。

最近研修に行き心に残っているのが「私たちの行動は理念に始まり理念に終わる」ということ。法人理念「阪神共同福祉会はすべての人の命を大切にし地域福祉の担い手となる」

周年では赤ちゃんから 100 歳近い方まで幅広い年代の方々が集まってくださいました。普段からほっとできる場所。居心地のよい空間、ちょっと散歩のついでに寄り道しようと思えるような場所作りができればと考えます。園田苑では生け花、習字、みんなで歌おうや気まぐれ喫茶、すこやかエクササイズ、カフェ、モーニング、子ども食堂、介護の勉強会などを実施しています。それは、地域との交流の場であり、人と人が出会う場でもあります。今まで周年のタイトルはあまり気にならなかった（ごめんなさい）私ですが、担当者で悩んで決めたタイトルに対する思い。地域の皆様に私



左からピアノ：和田さくらさん
二胡：山口真央さん ヘグム：李美香さん



たちも育てて頂いてお互い高め合いたい。来年度から地域支援事業も開始となり、今まで以上に地域住民同士の助け合いや支えあいが必要になってきます。看護・介護職員もなかなか集まらず、求人を出してもホームヘルパーさんのなり手がな

い現実。人と人の支えあいが必要な世の中に生きる私たち。介護給付費の削減だけが目的ではないと思いますが、今、地域住民が一つになって人が人を支える地域社会を作る。そこに私たちも一緒に担うことができればと考えています。

当日は150名を超える地域の方、尼崎市長並びに来賓、関係各位の皆様にお集まりいただき大変感謝いたします。伝達や準備等、不届きな点多数あり、ご迷惑をおかけすることもありました。声かけや確認等日ごろのコミュニケーションの大切さを痛感しました。



庭の手入れなど細かな配慮や準備をボランティアさんがしてくださり、当日の周年行事の準備や運営も多数のボランティアさん、職員の皆さんに協力いただきました。園田苑を花で彩り、冷たい飲み物やおいしい料理、ケーキを用意していただいた地域のお店の方々。快く引き受けてくださり、また無理を聞いて頂きありがとうございました。(居宅 河合 恵子)

民間交流を通じてより良い関係づくりを

園田苑と友好交流協定を結んでいる韓国の聖愛老人療養院から、今年も4名の職員の方を園田苑の周年行事にお招きすることができました。周年行事に参加するまでの2日間は、大阪城や太秦映画村、金閣寺や清水寺などへ出かけました。太秦映画村ではチャンバラの実演に拍手喝さい。扮装写真館にて時代劇の衣装(カツラや着物)を身につけ写真撮影をしました。すごくよくお似合いで、出来上がりの写真みて少し恥ずかしそうにされながらも「いい記念になります」と大切に持ち帰られました。金閣寺ではきらびやかな姿を何十枚も写真におさめ、昼食にはご希望のお好み焼きを目の前の鉄板で一緒に焼きながら食べました。1枚だけ激辛のお好み焼きを注文しましたが、私達は一口食べただけで口中が辛さでいっぱい。でも、韓国の方は表情一つ変えず「おいしいね」と完食され「さすがキムチの本場だな」と驚かされました。夜の会食では互いの福祉事情について意見を交わし、共通の問題があることを知りました。会食後に急きょ乗ることとなった夜の梅田の街を望む観覧車では皆さん大興奮。とても喜んで下さいました。



このような民間交流を通じて他国の文化を知ることの大切さを改めて感じると共に、これを契機により身近な存在として互いの国への関心を高め、より良い関係づくりに向けて行動していきたいと思います。

(併設型通所介護 生活相談員 関口 義信)

☂雨の合間の18周年

～ブルーシートが屋根がわり～

9月22日木曜日、グループハウスが18周年の日を迎えました。

朝から台風の為、雨模様。普段は屋根のないウッドデッキで催しをするため、みんな総出でブルーシートで屋根作りをしました。無常の雨が続きまして。

しかし、開始少し前やみ始める。この間だけやんでくれ！

ウクレレ、紙芝居、演舞ショーが始まる。役者、幸之丞さんは2年前にも出演された方、今回2度目のグループハウスでの踊りにわくわく、胸ドキドキ、目はキラキラ、皆さんの顔がお嬢さんに戻り笑顔。「今夜は寝られへんわ」と楽しいときを過ごしました。良い夢が見られたのでは・・・

皆さんが帰りついたかな？と思われる頃、またもや大雨が降りだしました。天気さえも味方をしてくれた、そんな周年行事でした。（グループハウス モーゼス 洋子）



お知らせ

兵庫県助成事業 ひょうご介護サポーター研修

「介護業務1日体験講座」

介護の仕事に興味のある方（資格不要）、無料で体験してみませんか。

日時：平成28年11月13日（日）・平成29年2月12日（日）午前10:00～16:30

会場：園田苑（住所：尼崎市小中島1丁目1-18）

担当：山崎則子（介護福祉士）

参加費：無料（昼食・テキストが付いています）

主催：特別養護老人ホーム園田苑 電話 06-6493-3731



編集後記

園田苑が久方ぶりのお化粧直しに取り掛かりました。年を越す長い工事になります。工事期間中はご迷惑をお掛けします。よろしくお願ひします。

生まれ変わる建物に乞うご期待。（きりん）

紅葉の季節。小学生の頃は毎年遠足で登山があり、どんぐりや色付いた紅葉をひろって歩くのが楽しみでした。

そういえば娘の保育園の山登り遠足に付き添って以来、山登りしてないな。（きんたろう）

最近、めつさり寒くなり外へ出る時は上着を離せなくなりました。

これからインフルエンザ等が流行り始めます。皆さん、気を付けましょうね。私も気を付けよう！（だるま大使）

韓国語で「縁（えにし）」をイニョンと言う。なぜか胸が高鳴る言葉です。

有縁千里来相逢 縁あれば千里来たりて逢うことができる

先縁対面不相逢 縁なくば近くにいても巡り逢わぬ

今、縁を見つめなおすため、小さな旅を始めました。（野の花）